

平成 15 年度 第一回放送番組審議会 議事録

武蔵野三鷹ケーブルテレビ株式会社

平成 15 年度 第一回放送番組審議会 議事録

開催日時：平成 15 年 6 月 27 日 16:00-18:00

開催場所：セコム SC センター 3-1 会議室

出席者：武蔵野市企画部長代理 情報管理課 八木課長、三鷹市企画部長代理 広報課 八代課長、見城武秀氏、中山廣明氏、川井信良氏、堀池喜一郎氏、牧野洋子氏、当社社長 山口忠弘、当社企画制作本部長 島野浩二

欠席者：高木康夫氏、事務局・説明員 当社放送制作部長 佐々木一雄

議事

1. 委員の交替(3名)があったため、委員自己紹介が行われた。
2. 当社社長山口より、当社 14 年度決算のデータをもとに、会社概況説明が行われた。

・加入類計、損益状況、コミュニティーチャンネル視聴可能世帯など（資料添付）

3. 佐々木部長より、コミュニティーチャンネルの現状報告（スタッフ数、番組概況、制作本数、最近の動向・評判、その他 VP 制作の状況など）並びに今後の計画、市場から求められている傾向などについて説明があった。（資料添付）

4. 上記報告・説明、を踏まえた上で、委員間で活発な意見交換があった。

*委員より出された意見（要約）

見城委員：マンションや、電波障害対象の再送信世帯について、コミチャン視聴可能とのことだが、周知 PR が足らぬのではないかと。方策を考えるべき。

堀池委員：過去の作品をライブラリー化している所もある。特に人物紹介などアーカイブ化して、公開・活用したらどうか？

牧野委員：デモテープ等を作成して、コミチャンの PR をもっと行うべき。

中山委員：吉祥寺のアニメワンダーランド、アーケード立替などとの提携の話もあるが、武蔵野・三鷹の今昔を映像として残していく義務もある。

複数委員：市内在住外国人への対策として外国語放送は避けて通れない。研究すべきだ。

見城委員：パークシティーの特徴として、地域市民のメディアリテラシー向上に貢献するという面がある。今後とも市民テレビ局の育成や、ビデオ講習会の活動を継続して欲しい。

川井委員：市民テレビ局もいい意味で壁にぶち当たっている。市民が作る番組として、その中味が問われている。

複数委員：ケーブルテレビが、市場原理の中で、地域で生き残っていく為には、武蔵野・三鷹両市の住みやすさと関連させるべき。

ケーブルテレビの情報を知ることによって、更にこのまちが住みやすい町になるような番組を。

武蔵野・三鷹の市民はパークシティーのお陰で広い意味で、メディアリテラシーを体得できる環境にある。そのことを大事に、育てて欲しい。

島野委員：大変貴重な意見を多く伺えた。

パークシティーとしても現在、若手を中心に新企画を考えている。

今日頂いた意見を、すぐに反映できないかもしれないが、実現に向けて努力していく。次回は新企画を提案し又、ご意見を頂きたい。

次回日程は決定していないが、パークシティー側の準備を待ち、年内には開催したい。